

議会広報特別委員会

日 時	令和 4年11月17日 (木) 開会中	12時46分 開会 13時13分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 2番 原口康之	(副委員長) 8番 種茂和男
	5番 加藤 彰	4番 名波和昌
	3番 絹村智昭	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 森田さおり	書記 本杉周平
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ちょっと長引いてしまいましたが、すぐに終わりたいと思いますので、議会広報特別委員会よろしくお願いたします。

2 事件 (1) 視察研修について

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、事件の方、視察研修についてということで、資料の方が視察先の一覧ということで、皆さんからこのような感じで挙げられています。一応各委員の方から説明をしていただきたいと思ひます。

副委員長からお願いします。

○（種茂和男君）

私の方からは、我々業界の名古屋では一番今、2番目ぐらいになったのか、三晃社さんというか、大手の広告代理店の方へ行きまして。我々基本的な撮影とか文字、そういった編集業務の方、よく分からない部分はまだあるんじゃないかということで、そういった部門の制作担当者から写真撮って、A4に割り付けとかどういう基準、操作でその1枚にまとめていくかというそういった流れを、ちょっと研修したいというような感じで出させていただきました。またこれも今三晃社さんの方、社長の了解を得て、全国に講師に行く人じゃなくて、我々のレベルが低いから簡単な人でいいですよということでは、今静岡の社長には連絡してあります。

あともう1ヶ所は高浜市議会という、いろいろなものを作っててかなり我々が必要としている規定書だとかそういった種類も作られているものですから、そういったところのお話を聞いてみたいということで、その2点を書かしていただきました。簡単に言いますとそんなところですよ。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

それでは加藤委員、お願いします。

○（加藤 彰君）

私の方では二つかな。二つ、八尾市の方と精華町の2ヶ所を挙げてありますけども。

まず八尾市議会、大阪です。それで選定理由のとおりですけども、中核市議会報コンクールで優秀賞受賞という、そこが一つ選んだ理由です。さらに事業的には、市議会とここに書いてある高校生プロジェクトを実施しているということが、少し魅力的かなと感じまして挙げさせてもらっています。あと事務局の方で補足していただいたものですから、よりそうかなと思ひましたけども、ここに書いてあるようなこと。

そしてあと精華町の方については、一般質問で検討するみたいなことについてを追ってるよということもありましたので、その辺で面白いかなと思いましたので挙げさせてもらいました。以上です。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

絹村委員、お願いします。

○（絹村智昭君）

それこそ自分も種茂副委員長の。元々種茂副委員長、印刷関係に強いということでちょっとアドバイスいただきながらちょっと自分も調べて、三晃社というところを挙げさせていただきます。

自分ちょっと調べた中でやっぱり一番大切かなと思ったのが、社会に必要とされる、喜ばれるものの考え方を率先してやられているっていうところもすごく学びたいなと思ったんで、この三晃社というところを挙げさせていただきました。以上です。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは各委員の方から説明していただいたので、まず最初に今回のこの視察について、前回少しお話を伺う中で一部の議員の方から、行く必要があるか疑問があるというような意見も出たんですが、今回この視察を出して一応いただいたんですが、実施するという方向でよろしいですか。何か意見ありましたらお願いします。

石山委員。

○（石山和生君）

今回は皆さんが、それは多数決だと思うので参加の方向でいいと思うんですが、今後ですよ。やるにあたって何を解決したいっていうのが先にあって、その解決できるところをみんなで探して行き先を決めるっていうのが正しい方法なのかなと私は思っているんで、今後に生かせるということだけコメントとして添えておきます。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

名波委員。

○（名波和昌君）

行く行かないというところの議論のところであれば、やはり今回青森行ったことの経験から、百聞は一見にしかずという言葉もあるとおり、やっぱり見る必要があるところもあるし。石山委員が言っている当然目的が一番最初に来なければいけないとは思いますが、行くべきところは行った方がいいんじゃないかなというふうに私は思います。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

絹村委員。

○（絹村智昭君）

自分はやっぱり行くに当たって次に反映できる、広報委員会に反映できるところをしっかりと視察するっていうのも必要な部分かなと思いますんで、こういう形も必要なのかなっていうふうに

は捉えています。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは全員一致した中で実施ということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは前回出させていただいて、正副委員長の議会広報のかけはしの最終決定の中で正副で少し視察先について検討をした結果、三晃社と大阪の八尾市議会ということで、この辺が。

1点としては、記事の書き方とか写真の取り方ということで少しそういった部分で勉強も必要じゃないかなというところと、あとは先進地の視察ということで八尾市がいいんじゃないかなと私たちもそう考えたもんですから。

視察先については、皆さんの方から何かご意見あったら伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

名波委員。

○（名波和昌君）

視察は1泊2日、それとも日帰りですか。1泊2日。愛知行って大阪行くには別にスケジュール的には問題ないってことですね。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それではその辺も含めて、事務局の方、よろしくお願いします。

○事務局書記（本杉周平君）

はい、ありがとうございます。予算的なことを申し上げますと1人5万円取っておりますので、1泊2日であれば対応可能かなというふうに思いますが、皆さんの中で例えばどっちか片方でいいんじゃないかとかっていうご意見があるようであれば、日帰りということも当然考えられるかなというふうには思いますので。最長でも1泊2日という形になるのかなというところで、予算的には想定をしているというところがございます。

なので、今名波委員がおっしゃられたとおり、愛知へ行って大阪に行くのか、大阪に行って愛知に行くのかっていうところは当然あるかなとは思いますが、そういうようなことも、1泊2日であれば可能かなというふうには考えているところがございます。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

それでは、三晃社と八尾市ということでこの方向で進めるということで、そのテーマについて少しこれも話し合いを持ちたいと思いますので、臨時か何かまた日程決めさせていただいて、全員でまた協議しながらテーマの方を決めていきたいと思いますので、その点もご承知ください。

事務局の方、何かあったら。

副委員長。

○（種茂和男君）

日程は決まってるの。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

日程はまた今から相談になりますが、その前に三晃社さんですかね。種茂副委員長を通じて少し連絡を取っていただいております、受入れについては前向きな返事をいただいているところではございますが、先方の方からですね、今種茂副委員長の説明の中でもありましたが、どういったことをお聞きになりたいのかということ。それと先方の方では全国的なそういう講師の方を三晃社さんが依頼をしてくれて、そういう方にやっていただくということも案としてこちらには示されていますけれども。その辺、そこまで求めないよと、基礎的なところでいいよということであればそういう方っていうわけでもなく、社員さんでいいのかどうかちょっと分かりませんが、その方をお願いをするという形をお願いするという形になるかなというふうに思っております。

それこそ向こうもいろいろ調整をいただいているものですから、早く返事がほしいよという中で、一応明日ですね。本当は今日連絡ほしかったってことなんです、今日決めるということをお話させてもらったところ、明日ですね、自分の方から先方の方にはこういう形になりましたというご連絡をするというスケジュールにはなっているところではございますので、その辺だけでも決めていただくというか、こういう方向でという方向を示していただけたらありがたいなというふうに思っています。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

先ほど言った質問事項を一応取りまとめるっていう意味で 11 月の 30 日までに提出する必要があるのです。早い方がいい。

○（種茂和男君）

講師の都合もあるもので、明日電話で一応こんなふうなのを聞きたいよっていうのを。要するに全国レベルの方を出すと、何かお金だとかそういうの料金がかかるんじゃないかと思うんですけどね。何十人か制作マンがいて、ある程度部長か課長クラスで我々の素人に流れとか、どういうとりまとめ、どういう作業をすると 1 ページに集約されるとか、記事の編集、例えば撮影の手順だとかね、いろいろあると思うんですけど。制作工程の流れを一般的に A 4 1 枚までに抑える編集だとか取材方法だとか、そこら辺の流れだけ知りたいなど。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

分かりました。

それでは質問事項の取りまとめる必要がやっぱあると思うんですから、その点どうしたら。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

詳細な質問というよりも、こういう方向性でお願いしたいっていう方向性の今お話をさせてもらってはいるんですけど。なので専門的な講師を頼んでほしいということであれば、そういうお願いを向こうにしなくちゃいけないなというふうに思いますし。その回答を少し明日いただきたいっていう話には今なっているところではあります。なのでそれぞれの各常任委員会を出すような事前の質問を今ほしいと言ってるわけじゃ多分ないとは思うんですけども、方向性の話かなというふうに思います。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

分かりました。

それでは方向性として三晃社さんについては講師の方を、どんな講師を選ぶのかっていうところの部分だと思うんですけど。三晃社さんの社員の方ということで。

○（種茂和男君）

社員の中で会社行って説明行くメンバーとか指導するメンバーとか、三晃社の中でもランクがあると思うもので、我々が聞いて、取材や議員が編集する流れを、どういう形でまとめてどういふことに注意したらいいとか、撮影方法だとか目立たせるにはどうしたらいいとか。要するに広告宣伝のさわりだけみたいな形でお聞きできればどうかなど。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ではそのような方向でちょっと。

加藤委員。

○（加藤 彰君）

絹村委員が書いてくれた選定理由、ここに書いてある下から2行目というか、それっていうのはどっかに載ってたんですか。

○（絹村智昭君）

三晃社の若い人の何コメっていうのか。仕事場の人のコメントの中に入っていて、新しい、社会に喜ばれるものとか、そういうものを考えながら制作に当たってるというのを見たんで、それでそういう考え方を並べたということ。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

加藤委員。

○（加藤 彰君）

分かりました。それでですね、変な話我々の広報紙ってある面大きな予算を、委託料みたいなそういう話ではないですよ。来年度予算についてもそうですので。どっちかっていうと頑張ってるって作ってくれてるっていうので、むしろコンテンツというか中身の話が充実しないっていうふうに思って正直いるんですね。2年先3年先はちょっとわかりませんが、何て言うんですかね、パターンはある程度決まってて、そこに入れてく内容を良いものにするっていうのがちょっと自分とするとポイントかなんかと思ってるんですね。

なので、三晃社さんの方でお聞きするとなったときに、何て言うんですかね、あまりどっか

委託してすごいものを作るみたいなレベルだと。

○（種茂和男君）

単純に、議員がA4で一般質問や何かやって質問したり、その記事に合った写真を撮って入れ込むとか、作業上のか取材方法だとかまとめ方みたいな形で、編集の記事を作るような感じで誰か話してもらえる人がいるといいなど。流れとか、三晃社さんの制作部門作業工程を拝見できればいいかなということなんですけどね。

○（加藤 彰君）

絹村委員が書いてくれたクライアントっていうふうに、要するに何て言うんですか、地方公共団体というかそういうところもお客さんとしているっていうことですよ。なのでちょっと教えてもらいたいのは、その三晃社さんから見てもこちらがやってるような作り方もって、さらにいくつか受けてるとこの良いとこっていうか、ここはすごく良いとか、ここは少し弱いんじゃないみたいなそういうのを聞きたいなってちょっと思ったんですよ。

うちの作るそもそもの、何て言うんですかね、作り方は変えなくていいと思っていて。じゃなくてそのそのレベルの中でその三晃社が扱ってる他の公共団体の何かそのここがすごく良いみたいな、そういうのがもし話を聞けたらいいかなとちょっと思ったもんですからね。

○（種茂和男君）

部門がいくつかあるもんで。結局私らが聞きたいっていうのは初歩的なことが強いもんで、ある程度のレベル、制作部門の部長とか課長とかでいいのかなって思ったんですけどね。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

分かりました。加藤委員の言うことは、今持ってる自分らのこのかけはしを出して向こうの評価というか、そういう部分を聞きながらいろんな質問を。

○（加藤 彰君）

それもそうだし、そうなってきたときにこのもし聞き方みたいな話でいくなれば、少しその辺はアドバイスもらうとか。他でやってるところでここはちょっと参考になるじゃないみたいな事例を見せて説明してもらったりできればいいかなと。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局、お願いします。

○事務局書記（本杉周平君）

例えばですね、うちの議会だよりを先に送らせてもらってですね、それを見ていただいた上で例えばもっとここをこうしたらいいんじゃないとか、タイトルの文言とかももうちょっとここはこうした方が皆さんに見ていただけるんじゃないとか、そういうことかなとか今聞いていて思ったりはしたんですけど。そういう形で受けてくれるかどうかっていうことで一度お話するっていう形で。

○（種茂和男君）

名古屋地区では一番手になるもんで、東京で電通で、関西で大広で、名古屋で三晃社ってい

う形になる。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局、お願いします。

○事務局書記（本杉周平君）

ではそういう形で、とりあえずですね、それでは特にどこか専門の講師を頼むというよりも、実際に作っていただいている方々のご意見、いろんなところと取引がある方の目線でうちのやつを見ていただきながら、改善点というかそういうことをちょっとお聞きするような形ということでよろしいですか。分かりました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

あとは日程的なところ辺の確認を最後にしたいと思います。

事務局お願いします。

○事務局書記（本杉周平君）

そうしましたら、次の資料の方をご覧ください。視察日程案ということで、もうすぐ直近になってしまおうんですが、1月2月のスケジュールの表の方を入れさせていただいております。

まず1ページ目が1月、2ページ目が2月という形になっておりまして、赤枠で白抜きになっているところが1泊2日で行くとした場合の候補日かなというところになってます。

1月はですね、薄いオレンジで入っている18、19が文教。25、26、27辺りが総務ということで視察の予定があるということで聞いていますので、そこは色塗りをさせてもらってあります。なので、開いているところですね、全部で三つですか、赤い枠をつけさせていただいておりますので、その中から候補日の方をですね、お選びいただきたいなというところで考えているところです。以上です。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

候補について、いろいろな前後関係を考えると、2月の1、2、3辺り。この辺かなと思いますが、皆さんの方から少しご意見の方いただけたらと思いますが。

石山委員

○（石山和生君）

特にありません。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

名波委員。

○（名波和昌君）

1月はちょっと厳しいんだらうなと思いますので、2月の1、2、3か7、8、9のどちらかがいいのではないかと思います。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

副委員長。

○（種茂和男君）

私の方も2月の1、2、3のうち、希望を言うなら今のところ2、3の方がいいのかなと。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

加藤委員。

○（加藤 彰君）

皆さんに合わせます。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

絹村委員。

○（絹村智昭君）

個人的なことになっちゃうんですけど、2月の2、3がいいなっているのがあります。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

皆さんの方、特別なようでしたら、2月の2、3でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは2月の2、3の方で少し。ちょっと相手方との関係もあるものですから、少し日程的には変更になる可能性もありますが、一応今の時点では2月の2、3で進めるということで、よろしく願いいたします。

事務局、お願いします。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございます。では、2月の2、3ということで先方の方にもお願いの方させていただきたく形を取らせていただきます。特にご希望がないようであれば、どちらを先にするかってことで、何かあればお伺いさせていただいておきますけれども、特にもう向こうの予定でってことでよろしいですかね。はい。

愛知と大阪になるものですから、人数も人数なので、ちょっとその交通手段については、また旅行業者さんとも話をさせてもらおうかなというふうには思っていますので。この3日間は全部新幹線とバスで行きましたけど、もしかしたら全部公共交通機関を使ってということもあるかもしれませんし、バスでということもあるかもしれませんが、その辺の金額的なところとあわせて、少しまでもしご異論がなければ正副委員長と話をさせてもらう中で決めさせていただければなというふうには思っておりますけれども。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

3 その他

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは他、その他皆さんの方から何かあったらよろしく願いします。いいですか。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ありがとうございました。では視察につきましては、一応今年は実施するという事で調整の方取らせていただきます。八尾市さんについてもですね、とりあえずは議会広報について、議会だよりについてっていう形でお申込みをさせていただきますけれども、当然、常任委員会と同様にですね、この後詳細なもうちょっと聞きたいことを詳しくという話になってくるかなというふうに思っておりますので、その辺についてはまた委員長からご指示いただいた上でまた皆様の方へいついつまでに出していただきたいというお話をさせていただくかもしれませんが、またご対応いただければというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは皆さんの方から何かないようでしたら、これで議会広報特別委員会を締めたいと思います。

ありがとうございました。

[午後 1時13分 閉会]